

平成29年度

印旛地区教育研究会

生活科学研究部
定期総会要項

平成29年5月9日（火）

会場：印旛教育会館

次 第

1 開会の言葉

2 研究部長あいさつ

3 議長選出・書記任命（議長： 部会）（書記： 部会）

4 報告事項

- （1）平成28年度事業並びに決算報告
- （2）平成28年度会計監査報告
- （3）平成28年度1部会から5部会活動報告
- （4）平成28年度千葉県生活科学研究部活動報告
- （5）その他
 - ・平成29年度 1部会から5部会生活科学研究部役員報告

5 協議事項

- （1）平成28年度事業並びに決算承認に関する件
- （2）平成29年度事業並びに予算承認に関する件
- （3）平成29年度本部役員選出に関する件
- （4）その他

6 新旧役員あいさつ

7 来賓あいさつ

8 閉会の言葉

※連絡事項

報告事項（１）平成２８年度事業

- １ 研究テーマ 「今こそ 探究の扉が開くとき」
～子どもが夢中になる生活科の授業づくりをめざして～
- ２ 研究の視点（教材づくり・授業改善を通して）
 - （１）気付きの質を高める生活科学習づくり
 - ・生活科における言語活動の重視
 - ・生活科の豊かな活動づくりの工夫
 - ・自然の不思議さや面白さを味わわせる活動の場の工夫
 - ・体験的な学びを通した学習の工夫
 - （２）学びが身につく生活科学習づくり
 - ・生活科の基礎的・基本的事項の定着
 - ・表現活動の重視（教師の支援のあり方、思考と表現の一体化）
 - （３）一人一人の活動を認める評価のあり方（評価方法の改善）
 - ・多様な評価の活用（自己評価・他者評価・形成的評価等）
 - ・子どものやる気を伸ばす評価
 - （４）他教科及び幼保との連携の推進
 - ・幼稚園、保育園及び小学校との連携教育の推進（スタートカリキュラム）
 - ・総合的な学習の時間との連携
 - ・人との関わりの重視（幼・保・異学年・高齢者・障害者等との交流）
- ３ 活動の重点
 - （１）学習指導要領の趣旨を生かし、創設の原点に立ち返って、生活科学習の改善を図る。
 - （２）地域や学校の特色を生かした実践的研究を推進する。
 - （３）安全対策の一層の充実を図る。
 - （４）生活科部会と総合的な学習部会との連携に努める。

４ 平成２８年度事業

月 日	曜日	事業名	会場	時刻	内 容
４月２０日	水	理事会議	印旛教育会館	１５：３０	総会打合せ等
５月１０日	火	研究部総会	印旛教育会館	１５：００	事業・予算・役員承認等
６月２８日	火	生活科研修会 中間検討会	印旛教育会館	１５：００	研究集会中間検討会・ 研修視察の検討について
８月 １日	火	生活科研修会	千葉市民会館	９：００	講演・情報交換
８月２４日	水	研究集会	ホテル日航成田	９：００	提案・協議・報告等
１１月２２日	火	授業研修会	高花小学校	１３：３０	授業参観・協議
２月２２日	水	理事会議	印旛教育会館	１５：３０	次年度計画打合せ及び 会計決算・予算案作成等

報告事項(1)平成28年度決算報告

1 収支決算

収 支 総 額	支 出 総 額	差 引 残 高	備 考
299,000 円	299,000 円	0 円	

2 収入内訳

項 目	予 算 額	決 算 額	比 較	備 考
印教研補助金	295,000 円	295,000 円	0 円	
千教研補助金	4,000 円	4,000 円	0 円	
前年度繰り越し	0 円	0 円	0 円	
合 計	299,000 円	299,000 円	0 円	

3 支出内訳

項 目	予 算 額	決 算 額	比 較	備 考
研 修 費	255,000 円	256,907 円	-1,907 円	各部会補助・研修費等
会 議 費	4,000 円	4,000 円	0 円	会議運営補助費等
広報活動費	13,000 円	9,463 円	3,537 円	研究部会報発行料
通 信 費	10,000 円	8,340 円	1,660 円	郵送料等
事 務 費	12,000 円	6,480 円	5,520 円	印刷用紙 事務用品購入等
会 場 費	5,000 円	13,810 円	-8,810 円	会場借用費等
合 計	299,000 円	299,000 円	0 円	

報告事項(2)平成28年度会計監査報告

証拠書類も整理され、帳簿類の記載も誤りがなく、適正である。

会計監査

押本 和義

露口 真由美

報告事項（３）平成２８年度１部会から５部会活動報告

（１）１部会生活科学研究部 活動報告

（２）２部会生活科学研究部 活動報告

（３）３部会生活科学研究部 活動報告

（４）４部会生活科学研究部 活動報告

（５）５部会生活科学研究部 活動報告

報告事項（４）平成２８年度千葉県生活科学研究部活動報告

※千葉県生活科教育研究協議会 君津大会

期 日 平成２８年１１月１８日（金）

会場校 木更津市立南清小学校

研究主題 「今こそ探究の扉が開くとき」

報告事項(5)その他

平成29年度 各部会生活科研究部 役員名簿

研修部(研)☆

広報部(広)○

役職等		1部会	2部会	3部会	4部会	5部会
部長 1名	氏名	小林登志子	飯嶋 真澄	伊藤沙緒里	小林 真理	押本 和美
	学校名	内郷小	加良部小	白井第三小	八街北小	中央小
副部長 2名	氏名	生澤 美樹☆	露口真由美☆	波木 咲子☆	山本 文代☆	高柳 聡子☆
	学校名	佐倉東小	富里小	南山小	八街東小	吉岡小
	氏名	山本純一郎○	首藤千亜季○	木村 晶子○	川崎 晴子○	山縣 裕子○
	学校名	佐倉小	日吉台小	本埜第一小	朝陽小	栗山小

協議事項（２）平成２９年度事業計画（案）

- 1 研究テーマ 「子どもが自ら学び共に生きる力を育む生活科の創造」
*主体的な学び *対話的な学び *深い学び *社会に開かれた教育課程
- 2 研究の視点（教材づくり・授業改善を通して）
 - （１）気付きの質を高める生活科学習づくり
 - ・生活科における言語活動の重視
 - ・生活科の豊かな活動づくりの工夫
 - ・自然の不思議さや面白さを味わわせる活動の場の工夫
 - ・体験的な学びを通した学習の工夫
 - （２）育成すべき資質・能力（学習指導要領の改訂に向けて）
 - ・何を理解しているか、何ができるか（知識・技能）
 - ・理解していること・できることをどう使うか（思考力・判断力・表現力等）
 - ・どのように社会と関わり、よりよい人生を送るか（学びに向かう力、人間性等）
 - （３）一人一人の活動を認める評価のあり方（評価方法の改善）
 - ・多様な評価の活用（自己評価・他者評価・形成的評価等）
 - ・子どものやる気を伸ばす評価
 - （４）他教科及び幼保との連携の推進
 - ・幼稚園、保育園及び小学校との連携教育の推進（スタートカリキュラム）
 - ・総合的な学習の時間との連携
 - ・人との関わりの重視（幼・保・異学年・高齢者・障害者等との交流）
- 3 活動の重点
 - （１）次期学習指導要領の改訂をふまえ、指導内容の見直し改善を図る。
 - （２）地域や学校の特色を生かした実践的研究を推進する。
 - （３）安全対策の一層の充実を図る。
 - （４）生活科部会と総合的な学習部会との連携に努める。

4 平成２９年度事業

月 日	曜日	事業名	会場	時刻	内 容
4月19日	水	役員会議	印旛教育会館	15:30	総会打合せ等
5月 9日	火	研究部総会	印旛教育会館	15:00	事業・予算・役員承認等
6月27日	火	生活科研修会 中間検討会	印旛教育会館	15:00	研究集会中間検討会・ 研修視察の検討について
8月2日	火	研修会	未定	9:00	研修会・講演
8月23日	水	研究集会	ホテル日航成田	9:00	提案・協議・報告等
11月1日	火	授業研修会	吉岡小学校	13:30	授業参観・協議
2月20日	火	役員会議	印旛教育会館	15:30	次年度計画打合せ及び 会計決算・予算案作成等

協議事項(2)平成29年度予算(案)

1 収入内訳

項 目	本年度予算額	前年度予算額	比 較	備 考
印教研補助金	298,000 円	295,000 円	3,000 円	
千教研補助金	4,000 円	4,000 円	0 円	
前年度繰り越し	0 円	0 円	0 円	
合 計	302,000 円	299,000 円	3,000 円	

2 支出内訳

項 目	本年度予算額	前年度予算額	比 較	備 考
研 修 費	255,000 円	255,000 円	0 円	各部会補助・研修費等
会 議 費	4,000 円	4,000 円	0 円	会議運営補助費等
広報活動費	13,000 円	13,000 円	0 円	研究部会報発行料
通 信 費	10,000 円	10,000 円	0 円	郵送料・資料配付料等
事 務 費	10,000 円	12,000 円	-2,000 円	印刷用紙 事務用品購入等
会 場 費	10,000 円	5,000 円	5,000 円	会場借用費等
合 計	302,000 円	299,000 円	3,000 円	

平成29年度本部役員

役 職	氏 名	職 名	学 校 名	備 考
部 長				
副部長				
〃				
事務局長				
幹事				
〃				
監査				
〃				
顧問				